

加賀市版 R E 1 0 0 推進協議会

設立趣意書

気候変動など世界的な危機意識を背景に、2015年9月、150を超える加盟国首脳に参加のもと、「持続可能な開発目標(SDGs)」が設定されました。このSDGsをきっかけに、世界の投資家は一斉に環境・社会・経済の面で持続可能な企業への投資に切り替えを進めております。特に、世界のグローバル企業は「脱炭素」などを念頭に資金を集中投資し、成長を目指しております。また、そうした企業との取引は脱炭素を要求されるようになってきており、世界的な潮流となってきております。

我が国では、温室効果ガスを2030年度に2013年度比で26%削減するとの目標を掲げていますが、加賀市では、この目標以上の削減を、世界首長誓約で宣言したところでもあります。

こうしたことを踏まえ、加賀市においても、公共、民生分野を問わず、再生可能エネルギーを活用し、脱炭素への転換を図る時期がきていると考えています。

また、加賀市では、エネルギーの消費に伴う資金が一方向的に域外へ流出しており、この資金の域外流出等が、加賀市全体の活力を低下させている要因の1つと考えております。このため、エネルギーの消費に伴う資金の域外流出を防ぎ、市内で循環させる仕組みを構築することができれば、地域経済も活性化できるのでは、と考えております。

加賀市では、本年4月1日より、再生可能エネルギーを活用した「脱炭素」と「地域内経済循環」を目指し、自治体新電力事業を開始したところでもあります。今後、さらに「脱炭素」「地域内経済循環」を強力に推し進めるため、会員間の情報共有を図りながら、再生可能エネルギー活用の可能性を考える「加賀市版 R E 1 0 0 推進協議会」を設立し、行政、団体、企業、市民が一体となって取り組むものとしします。

令和元年（2019年）10月

以 上